

# 甲南大学 総合研究所報

甲南大学総合研究所

〒658-8501

神戸市東灘区岡本8-9-1

電話 (078)435-2331(ダイヤルイン)

## 第50回 総合研究所公開講演会

### 「脳における記憶のしくみ——良質の睡眠が記憶力をアップさせる」

平成22年7月3日(土)

講師 前田多章氏

(甲南大学知能情報学部准教授)



#### 小谷所長：

本日は雨の降る中を甲南大学総合研究所、公開講演会にお越し下さいましてありがとうございます。私はこの4月から所長を勤めております、小谷と申します。

総合研究所は1984年に設立されており、すでに設立後25年以上経過しております。学部学科の枠を越

えた各種の研究活動や論文叢書の発行を行なっておりますが、それと並んで毎年2回公開講演会を開催しており今回は、今年度の第1回目の開催となります。講師は本学、知能情報学部の前田多章先生です。慶應義塾大学医学研究科大学院、博士課程を1999年に出られ現在甲南大学の准教授としてご活躍されておられます。

継承されている場合も多く、創業者が存命中に肉声を記録に残す意味が重要になっている。本研究は、マイノリティの企業の創業者へのインタビューを行い、そのアーカイブを作成し、マイノリティの企業家の比較研究を行うことを目的としている。

2009年度中には、日本のプラスチック用品最大手に成長したアイリス・オーヤマの大山専務取締役と、堂島ロールの創業者であり現在の社長金美花氏にインタビューした。アイリス・オーヤマは1958年に東大阪で創業された大山ブロー工業を母体としている。1964年に創業者が急逝したのち、その長男の大山健太郎氏（アイリス・オーヤマの現会長）が経営を継承した。大山健太郎氏は4人の弟たちと事業拡大に努めてきた。特にプラスチック用品のメーカー機能と問屋機能をあわせ持つ独自の「メーカーベンダー」システムを確立し、全国のホームセンターなどに配送する物流システム、次々とアイデア商品を開発する商品開発力で今日までの成長を成し遂げてきた。

これらのインタビューをDVDに収録・編集しアーカイブとすることで、今後の研究に広く活用できる基礎資料を作成中である。2010年度は、MKタクシーの創業者である青木会長はじめ、何人かの経営者へのインタビューを準備しており、基礎資料を収集し分析している。これらの研究は、日本経営史においてあまり分析されなかったマイノリティ企業に関するアーカイブという一次資料を提供することで、今後の日本経営史に貢献できるという効果をもっていると思われる。

#### 「アジア地域における“持続可能な未来”のための環境教育学」

No.113 研究幹事 谷口文章（文学部）

2010年度は、次のとおり研究会および合同研究会を開催しました。まず、「アジア地域」に関しては、タイ・プラナコーン大学のチナタ・ナガシンハ氏（環境教育センター所長）をお招きし環境教育の基本としての衣食住について「Environmental Education regarding Materials and Programme of Food」の講演をお願いしました。また、日本環境教育学会第21回全国大会における学会プロジェクトとの共催により、谷口文章（甲南大学）『「持続可能な未来」のためのアジア地域・ネットワークの構築～衣食住に根ざした環境教育（服育）の提案～』、チナタ・ナガシンハ氏（タイ・プラナコーン大学）「タイにおける衣食住に根ざした環境教育の紹介」、清水芳久氏（京都大学）「アフリカ・マラウイ国 資源循環型衛生プロジェクト～穀物と水をめぐって～」を行ないました。

そして「持続可能」な未来の実現のためには、環境倫理学にもとづいた環境教育のローカルな実践研究も必要であるため、環境教育としての「服育」について、「衣」（服育）、「食」（食育）、「住」（住育）という生活基盤に基づく調査をしました。とくに学校教育における実践事例を中心に環境教育学の確立について議論しました。環境教育を貫く共通課題は、ライフスタイルの変更のための実践であり、さらに常識的なことと思われる衣食住のエコロジーの原点を探ることです。こうした実践的な取り組みから多くを体験し、交わされた討論の研究結果が、本年1月の第5回甲南平生国際フォーラム「生物と文化の多様性～アジアからの発信～」という形で結実しました。

2010年3月4日 総研（第6回服育研究会）甲南大学

2010年5月20日 総研（第7回服育研究会）甲南大学

“Environmental Education regarding Materials and Programme of Food”チナタ・ナガシンハ（タイ・プラナコーン大学）

2010年5月23日 第21回日本環境教育学会全国大会（琉球大学）、学会プロジェクト（第3回）学会プロジェクト研究「アジア地域における『持続可能な未来』のための環境教育とネットワークの構築」谷口文章（甲南大学）『「持続可能な未来」のためのアジア地域・ネットワークの構築～衣食住に根ざした環境教育（服育）の提案～』、チナタ・ナガシンハ氏（タイ・プラナコーン大学）「タイにおける衣食住に根ざした環境教育の紹介」、清水芳久氏（京都大学）「アフリカ・マ

ラウイ国 資源循環型衛生プロジェクト  
「～穀物と水をめぐって～」

2010年7月22日 総研（第8回服育研究会）甲南大学

2010年8月24日 総研（第9回服育研究会）㈱チクマ  
内容：学校教育における服育の実践事例  
話題提供：岡本真澄氏（大阪府教育センター）、西垣亮子氏（宝塚市立宝梅中学校）他

2010年10月5日 総研（第10回服育研究会）㈱チクマ  
内容：学校教育における服育の実践事例  
話題提供：岡本真澄氏（大阪府教育センター）

2010年11月11日 総研（第11回服育研究会）㈱チクマ 内容：学校教育における服育の実践事例 話題提供：本庄真氏（明日香小学校）

2011年1月8日 甲南学園創立90周年記念フォーラム、第5回甲南平生国際フォーラム「生物と文化の多様性～アジアからの発信～」 会場：甲南大学

2011年1月25日 総研（第12回服育研究会）会場：甲南大学



第5回甲南平生フォーラム「生物と文化の多様性」  
（マレーシア・マラヤ大学学長 ガオウ・ジャスモン氏）